

# ハンドボール

# No.34

Japan  
Handball  
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 成年女子

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合番号 **A-え**

年月日 2023 年 10 月 9 日 (月)  
大会名 特別国民体育大会 燃ゆる感動がこしま国体 ハンドボール競技

## 公式記録用紙

A		鹿児島県										広島県				B
鹿児島県		霧島市				霧島市国分体育館						2回戦				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加	A	B		
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数					
	4/6	1	2	後	3	1	2	後	3	3/4						
		2738	2056			1748	0958	2454								

No.	鹿児島県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	広島県	G	W	2'	2'	D	DR
1	飛田 季実子							1	山本 春花						
2	川俣 ゆかり			1				2	篠 愛里						
3	膏 麗子	7		1				3	加納 穂伽	1					
4	松浦 侑加	5		1				4	秋山 静香	2		1	1		
5	伊地知 美姫	1		1	1			5	石川 莉子	2					
6	伊地知 愛妃	3						6	南 夏津美	1					
7	笠 泉里	4		1				7	田淵 美沙	3					
8	川島 芽依							8	辻 菜乃香	5					
9	岩元 侑莉	1						9	三橋 未来	5					
10	河嶋 英里	2		1				10	安藤 かよこ	3		1	1		
11	川上 真愛	4						11	中村 歩夢	3					
12	坂本 晶							12	榎 和奏						
監督A	本藏 理							監督A	酒巻 清治						
役員B	高栖 由香							役員B	大前 典子						
役員C	山内 眞琴							役員C	砂池 紗帆						
								役員D	大段 淳義						

A	本藏 理	チーム役員A署名	酒巻清治	B
特記事項				

レフェー	駒谷 研志	波多野 祐介	駒谷 研志	波多野 祐介
TD	河野 眞育		河野 眞育	
MO	児玉 浩三郎		児玉 浩三郎	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

# ハンドボール

# No.37

## 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月 9日 (月)	試合番号	A-え	回戦	2
種別	成年女子	会場	霧島市国分体育館		

Aチーム名			Bチーム名		
鹿児島			広島		
得点合計	小計		小計	得点合計	
27	14	前半	11	25	
	13	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

前日、香川を破り勢いに乗る鹿児島は、⑩川上の速攻で先制すると、④松浦のカットインで連続得点を決める。対する広島も、③辻のカットインやスカイプレーで即座に追いつき、序盤から激しい攻防が展開される試合となった。その後一進一退の攻防が続くなか、広島から立て続けに2名の2分間退場者が出る。点差を広げたい鹿児島だが、広島の粘り強いディフェンスをなかなか崩しきれない。それでも③冨の豪快なポストプレーや④松浦の得点により3点差をつけると、広島はタイムアウトを要求。その後、広島の果敢なオフェンスを受け、逆に鹿児島から2分間退場者が連続して出る。好機を得た広島は、⑤石川や⑥南が得点し、26分に1点差まで詰め寄る。しかし、鹿児島は⑦笠⑩川上の両サイドのシュートにより再び3点差をつける。残り1分ほどで広島に7mTが与えられるも、これをGK①飛田がセーブ。3点差のまま前半が終了した。

後半は④松浦のカットインで鹿児島が先制。その後チャンスを作るも、広島のGK2人が好セーブを見せ、追加点を思うように奪えないなか、広島は⑩中村のミドルシュートで得点。しかし、鹿児島は⑥伊地知のカットインを皮切りにオフェンスが機能。10分に6点差をつける。その後互いに譲らぬ攻防が繰り返されるが、鹿児島に2分間退場者が出た隙に、広島は③三橋のサイドシュートにより徐々に追いつける。負けじと鹿児島も③岩元のサイドシュートなどを決め、広島を追いつかせない。広島は④秋山が力強いカットインを見せるなど、最後まで攻め続けるが、①飛田のファインセーブを連発する姿に勢いを得た鹿児島がその猛攻を退け、準々決勝へと駒を進めた。

記載者氏名	廣森 健太郎
送信日時	10月 日 ( ) :